

<p>一般社団法人神戸市サッカー協会の目的</p> <p>この法人は、サッカーに関する競技会の開催、選手の育成、審判の養成などの事業を行い、神戸市におけるサッカーの普及と競技力の向上を図り、もって市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。(定款より抜粋)</p>	<p>神戸のサッカー『リ・スタート・ビジョン』基本計画(概要)</p> <p>「スポーツでつながるみんなのまちへ!」</p> <p>～サッカー発祥の地・神戸から、未来のこどもたちへ～</p> <p>Goal for 2040</p>	<p>リ・スタート・ビジョンの「基盤・こころ」(JFAのバリュー)</p> <ul style="list-style-type: none"> * エンジョイ: スポーツの楽しさと喜びを原点にすること * プレーヤーズ・ファースト: 選手にとっての最善を考えること * フェア: オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと * チャレンジ: 成長への高い志と情熱で挑戦を続けること * リスペクト: 関わりのある全てを大切に思うこと
---	---	--

～ はじめに ～

少子高齢化の進展は、これからの日本社会を大きく変える要因。このままでは、登録選手が減少し、サッカー協会の活動が継続出来なくなっていく。団塊の世代が80歳を超える2025年を過ぎると一気に人口が減少する。◆学校運動部活動は、先生方の情熱に頼る部分が大きく、大きな社会問題になっている。◆これらの問題は、サッカー協会だけではなく、すべてのスポーツ種目にも当てはまる。「他のスポーツ協会ともスクラムを組んで、未来の子供たちに、楽しく、喜びあふれるスポーツ環境を提供する必要がある」と、結論づけられた。◆莫大な費用が予想されるスポーツ施設の整備や地域コミュニティとしてのコミュニティ型スポーツクラブなど「夢」のような提案もある。

神戸のサッカー『リ・スタート・ビジョン』プロジェクト・メンバー一同

重点目標(1) スポーツ仲間の拡大

- ◇「する・みる・ささえる」仲間の拡大(多様性の尊重、既存登録者選手以外も)
 - ・女性・シニア・キッズ・外国人(留学生を含む)への普及・交流を促進
 - ・健常者も障がい者ともに「スポーツの楽しさと喜び」を実感できる機会と空間を創出
 - ・スポーツに関わる仲間が、スポーツの「理念や価値」を共有
 - ・スポーツから遠ざかっていた人が、気軽にスポーツ仲間として復帰できるシステム創出
 - ・健康的で活力ある地域社会づくりを推進し、社会保障費削減にも貢献
- ◇子どもたちの健やかな成長とシニア世代の健康を促す・「地域コミュニティ型スポーツクラブ」の提唱
 - ・地域活性化にも有用な地域コミュニティ型スポーツクラブ設立の提唱者となる
 - ・小学生年代までは、いろいろなスポーツを体験できるように工夫する
 - ・入会を希望する人は、市内のどのクラブでも入会可能。クラブ間の移籍も自由
 - ・世代間によってスポーツできる時間や種目を調整し、好きなスポーツを選べるように工夫し、施設を有効活用
 - ・地域で一貫指導できる環境を整え、安全・安心に生涯、スポーツを楽しめる環境整備
 - ・週末にクラブに地域の人が集まり、スポーツを楽しむ人を、世代を超えて囲み、クラブ員同士の交流機会提供
 - ・スポーツや学童保育活動を近隣シニア世代がボランティアでサポートできる仕組みを創出
 - ・自治を基本とし、行政と協会が設定する「一定条件を満たす団体(法人)」が運営
 - ・障がい者スポーツ、学校部活動を支援する
 - ・学校とスポーツ施設を結ぶコミュニティ・バスを循環させ、青少年のスポーツ・音楽・芸術活動を支援

重点目標(3) 他スポーツ団体とともに・・・サッカー界だけでは実現できない!

- 市民が気軽にスポーツできる日を設ける。市内スポーツ団体の交流機会を作る
- サッカー協会が他のスポーツ協会や関係団体へ呼びかけ、日程や会場などを調整・広報する
- 企画・運営は、各スポーツ協会で、開催日は、個別設定か、全市同日設定。
- <例:参加者数のギネス記録を目標に>

計画の実現に向けて、次への取り組み(案)

- 戦略(1) 協会組織基盤の強化(理事会・委員会・事務局)
 - 専門知識を持った職員の雇用…経理、事業・委員会サポート、企画力、提案力、発信力(広報)の強化
- 戦略(2) 人の育成・教育システムの構築(選手・指導者・審判・クラブGM・協会スタッフ)
 - 協会スタッフ研修会の開催(年2回)で理念、ビジョン、ミッションの共有化と仲間意識の醸成
 - 技術委員会・審判委員会による選手育成、指導者養成、審判員養成の充実。GM研修の開講。

重点目標(2) スポーツ施設の整備

- ◇各区にトレーニングセンター整備 ⇒ 廃校・現在使われている学校・公共スポーツ施設・遊休地など
 - ・人工芝グラウンド、フットサルコート、ナイター照明、体育館、テニスコート、更衣室、トイレ、シャワールーム、会議室、飲食ができるスペースを含むクラブハウス、
 - ・地域コミュニティ型スポーツクラブの拠点
- ◇スポーツ・ミュージアムの建設
 - ・「神戸のスポーツの歴史を大切に(神戸発祥のスポーツを始めとして、温故知新)」
 - 日本の近代スポーツは、開港とともにやってきた外国人の手によってもたらされた。神戸には、遺産があり、後世に伝えるためにスポーツ・ミュージアムをつくる

重点目標(4) 協会の強化・充実・活性化・円滑化!

- ◇「信頼される協会組織へパワーアップ!」
 - 協会ボランティア活動を一層支援するため事務局に専任職員を置く。経理処理能力・企画力・提案力の強化を図る。ガバナンス、コンプライアンス強化
 - ・各委員会の役割分担と連携強化
 - ・各委員会に若手スタッフ登用促進
 - ・特定事業達成へ(各種委員会を横断する)特任理事採用
 - ・経理処理能力向上のため公認会計士等の活用
 - ・他スポーツ団体、障がい者組織との連携強化
 - ・市内法人化サッカー組織との連携、協働を図る

『常に一步先んじ、一刻早く』

・・・第2代目会長 河本春男

- 戦略(3) 財務基盤の強化(経理処理システム・公認会計士等)
 - 経理IT処理化、公認会計士等・マーケティング専門家導入、公益事業と収益事業の区分
 - 公益社団法人化の準備、スポーツ育英基金(財団法人)準備
- 戦略(4) ステークホルダーとの関係強化(神戸市・市会・市スポーツ教育協会・企業・財界・スポーツ医科学会・大学)
 - 神戸市教育委員会・神戸市スポーツ教育協会・市会スポーツ議員連盟・神戸商工会議所スポーツ産業懇話会等を担当する特任理事の設置
- 戦略(5) アンケートから各種委員会で課題事業を短期・中期・長期に分けて整理し、それぞれの担当者を決めて具現化を計画